

「真に人々を啓発する音楽は、永遠に異なった解釈を歓迎し、無尽蔵の宝の山に人々を誘う」
—— イーヴォ・ポゴレリッチ



IVO POGORELICH

PIANO RECITAL

イーヴォ・ポゴレリッチ — 還暦 —
ピアノ・リサイタル

2018年 **12/8** (土) 19:00

サントリーホール

Saturday, December 8, 2018 at 7 p.m.
Suntory Hall, Tokyo

モーツァルト: アダージョ 口短調 K. 540
Mozart: Adagio in B minor K. 540

リスト: ピアノ・ソナタ 口短調
Liszt: Piano Sonata in B minor

シューマン: 交響的練習曲 op. 13 (遺作変奏付)
Schumann: Symphonic Etudes op. 13

S¥13,000 A¥10,000 B¥7,000 C¥5,000 プラチナ券¥18,000

主催: KAJIMOTO

ポゴレリッチが60歳を迎える。ローラーコースターのような人生だが、その歩みは滝に打たれて修業を重ねる僧侶のごとく、彼の偉大なる芸術は日々の鍛錬によってもたらされたものだ。

1958年 旧ユーゴスラビアのベオグラードに生まれる。

11歳:親元を離れ、単身でモスクワの音楽学校に留学。

17歳:師であり、のちに配偶者となるアリス・ケゼラーゼに出会う。

21歳:ショパン国際コンクールのセミ・ファイナルで落選して大いに話題になる。

23歳:初来日

37歳:ケゼラーゼ死去。以来コンサート活動を一時休止。

1981年(22歳)~1995年(36歳)の間にドイツ・グラモフォンに14枚の名盤を残し、天才ピアニストとしての地位を不動にした。その後休養期間を経て復帰したが、いまだに低迷期の極端にテンポを落とした演奏が引き合いに出されることが多い。しかしポゴレリッチは大きな変容をとげて帰還した。混迷の時代から、その後の偉大なる復活への振れ幅の大きさは、はかりしれない。どのようにしてこのような高みまで上ることができるのだろうか。それはポゴレリッチが常に自分の人生を命がけで過ごしてきたからに違いない。

最近の演奏活動の充実ぶりは以下の3つの出来事が証明している。

その1 21年ぶりにレコーディング再開:2016年11月 IDAGIOレベルにベートーヴェンのピアノ・ソナタを録音し、ヨーロッパの各紙で絶賛されている。

その2 30年ぶりの映像収録:2017年10月に奈良の正暦寺でNHKの番組収録(クレメンティ、ショパン、シベリウス、ラフマニノフ)をおこなった。映像収録はユニテルに残した2つのリサイクルDVDから30年ぶりである。彼が愛する日本のファンへの貴重な贈り物となった。

その3 28年ぶりに生まれ故郷でリサイクル:2017年12月にベオグラード(セルビア)で28年ぶりに演奏会をおこなった。現地では「歴史的演奏会」と報道され、チケットは即日完売、国営テレビでのロング・インタビューや写真展も開催された。ポゴレリッチは旧ユーゴスラビアのベオグラードでクロアチア人の父とセルビア人の母の間に生まれている。1991年に内戦が勃発、祖国が分裂し、クロアチア国籍を選択した。地元メディアは「忘れがたいポゴレリッチの帰還」「音楽の化身」「ポゴレリッチによる音楽の魔法」と絶賛した。

ポゴレリッチは異常なまでの完璧主義者である。自分に対してとても厳しい。だから録音や映像収録も自分が納得しないと引き受けない。いま長い沈黙を破り、録音活動を再開したことは、彼が過去の呪縛からようやく解放され、音楽の魔物として復活をとげたことを証明している。

「異端の音楽家」と言うことは簡単だ。でもどうかこの機会にいま現在のポゴレリッチに出会い、彼の生の音を聴き、彼独特の美学にふれてほしい。こんなにも濃密な時間を一緒に過ごすことができるピアニストはめったにいない。「奇才」か「魔物」か「天使」なのかは、彼の音楽の曼荼羅に実際に足を踏み入れてみたものにしかわからないし、そうして出会うことができる、あなたの人生にとってかけがえのない瞬間も、一期一会のものなのだから。



イーヴォ・ポゴレリッチ(ピアノ) Ivo Pogorelich, Piano

1980年のショパン国際コンクールで、本選を前に彼を落選させたことについての論争とそれに抗議して帰国してしまった審査員のひとり、マルタ・アルゲリッチの「だって彼は天才よ!」という言葉によってポゴレリッチは一躍脚光を呼び、たちまち世界的に名を知られることになった。

1981年のカーネギーホールでのデビュー以来、世界中で活躍、ベルリン・フィル、ウィーン・フィル、ロンドン響、パリ管、シカゴ響、ボストン響など世界有数のオーケストラと共演を重ねている。

若い人への教育にも熱心で1986年にはクロアチアに若い演奏家をサポートするための財団を設立。1989年から開催しているドイツのバート・ヴェリスホーフでのポゴレリッチ音楽祭では若い音楽家たちに著名な演奏家と共演する機会を与えている。また赤十字やサラエヴォ再建、癌や硬化症と闘う人のためにも多くのチャリティ・コンサートを行っている。1988年にはユネスコから親善大使に任命された。

1982年、ドイツ・グラモフォンからレコードデビュー。以来10数点のCDリリースがされ、いずれも人気を博している。

数年間の療養期間を経て2005年に6年ぶりの来日を果たして以来、定期的に来日。公演の度にその演奏は議論を呼んだが、昨年および一昨年の来日公演は、満場の聴衆が大きな感動と興奮に包まれるものとなった。

チケットのお申込み

カジモト・イープラス

検索

www.kajimotoeplus.com

カジモト・イープラス 0570-06-9960

※オペレーター対応(10:00~18:00)
ホームページからお申込みいただけます(パソコンもケータイも同じアドレス)。

0570で始まるナビダイヤル番号は、PHS、IP電話など一部の回線からは接続されない場合がございます。NTT加入電話、公衆電話などをご利用願います。

チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード: 110-880)

e+(イープラス) <http://eplus.jp/>

CNプレイガイド 0570-08-9990

ローソンチケット 0570-000-407

サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017

twitter @kajimoto_News

facebook

YouTube YouTube

“kajimotomusic” で検索!



@kajimotomusic

便利なケータイサイトもぜひご利用ください。

iモード・EZweb・Yahoo!ケータイ 対応

チケットもご購入いただけます。

カジモト・イープラス



一般発売:
6/16(土)10:00~

カジモト・イープラス会員限定先行受付: 6/7(木)12:00~6/10(日)18:00 先行受付専用番号 TEL: 0570-06-9969[10:00~18:00(初日のみ12:00より受付)]

●やむを得ぬ事情により内容に変更が生じる場合がございますが、曲目変更などのために払い戻しはいたしませんのであらかじめご了承願います。

●未就学児のご入場はご遠慮いただいております。●団体料金の設定のある公演もございます。詳しくはお問合せください。

KAJIMOTO 〒104-0061 東京都中央区銀座6-4-1 東海堂銀座ビル5階 TEL: 03-3574-0550 <http://www.kajimotomusic.com/>